

2015年12月24日

第1回薬剤耐性に関する検討調整会議

食品安全委員会における 薬剤耐性菌の食品健康影響評価

内閣府食品安全委員会事務局

食品の安全を確保する仕組み

食品安全委員会

リスク評価

- ・ハザードの同定
- ・ADIの設定、
- ・リスク管理施策の評価

科学的

中立公正

情報収集
・交換

諸外国・
国際機関等

評価の
要請

評価結果の
通知

リスク
コミュニケーション
関係者全員が意見交換し、
相互に理解を深める

農林水産省(リスク管理)

- ・動物用医薬品使用基準の設定
- ・飼料添加物の指定、規格基準の設定
- ・農薬使用基準の設定 等

厚生労働省(リスク管理)

- ・残留基準値(MRL)の設定
- ・検査、サーベイランス、指導 等

環境省

- ・環境汚染物質の基準の設定 等

消費者庁

- ・アレルギー等の表示 等

政策的 費用対効果 科学的 技術的可能性 ステークホルダー

食品安全委員会の構成

専門調査会(12)

専門委員延 約200名

企画等

添加物

農薬

動物用医薬品

器具・容器包装

汚染物質等

微生物・ウイルス

プリオン

かび毒・自然毒等

遺伝子組換え食品等

新開発食品

肥料・飼料等

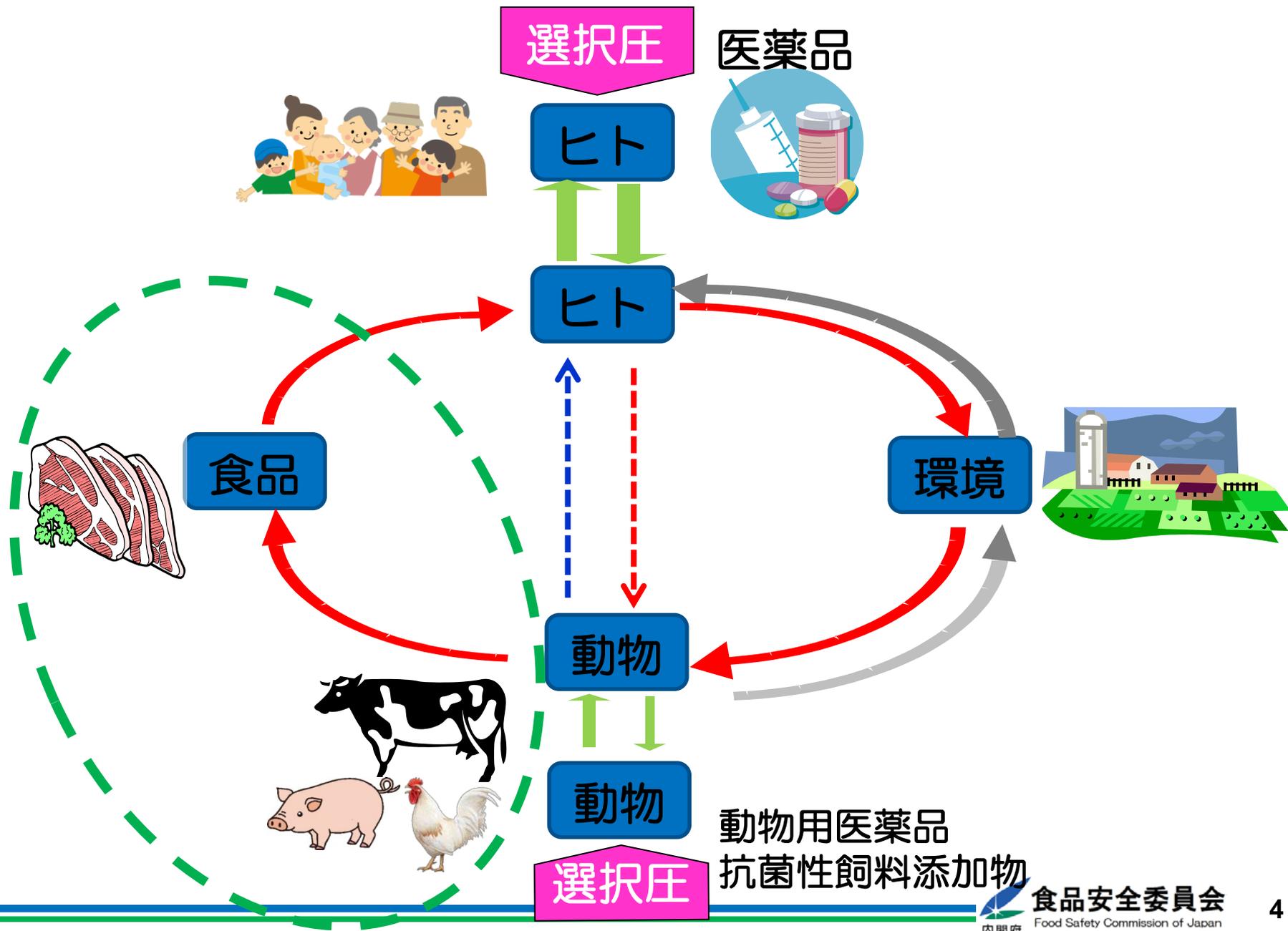
ワーキンググループ
(薬剤耐性菌、栄養成分他)

食品安全
委員会委員

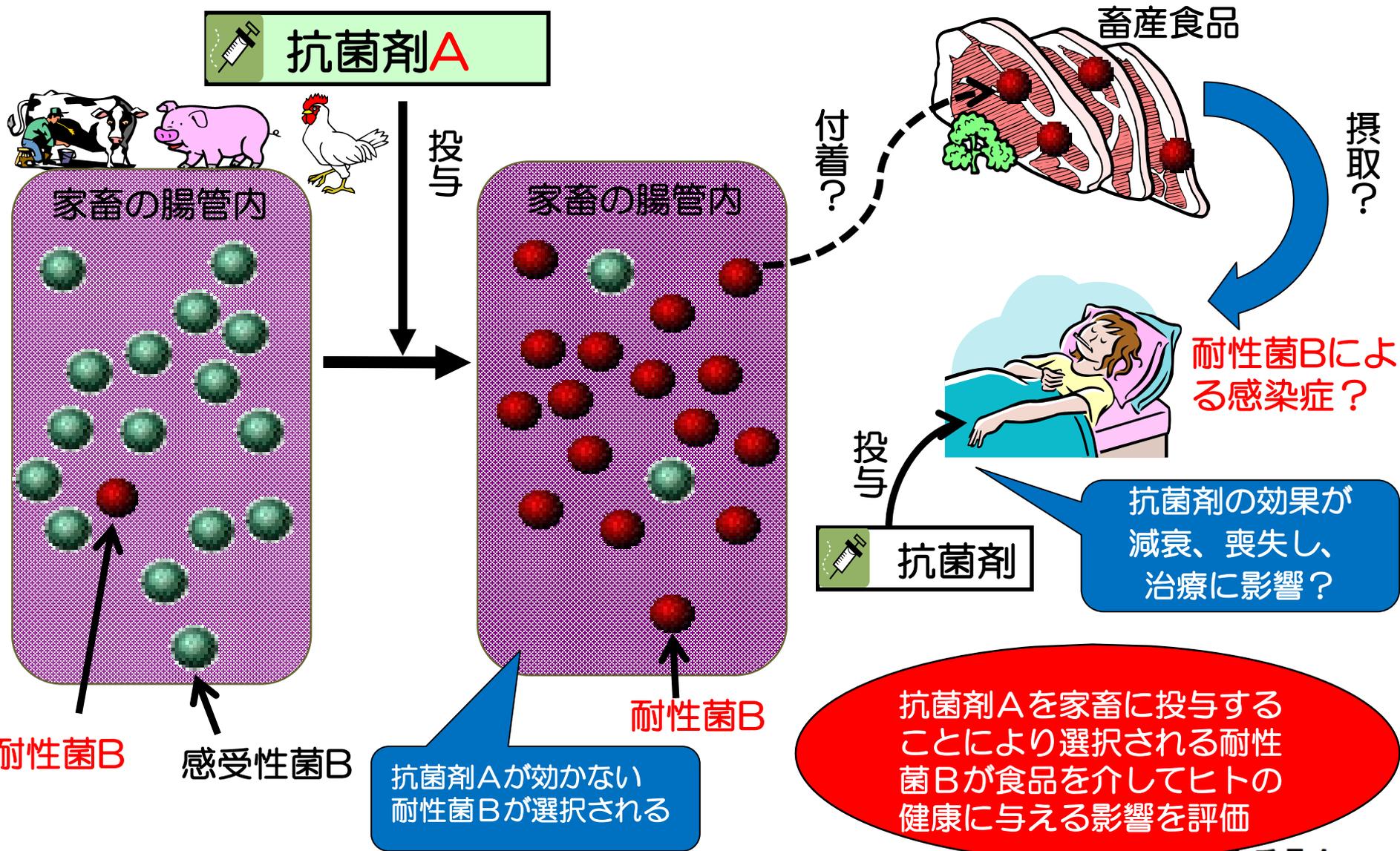
7名

事務局

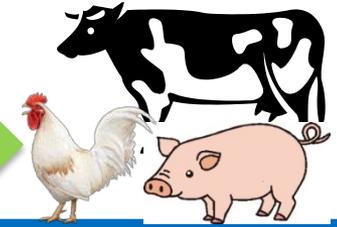
薬剤耐性菌（遺伝子）の伝播経路



抗菌性物質の使用と薬剤耐性菌 —家畜由来薬剤耐性菌に係る食品健康影響評価の観点—



抗菌性物質の使用



- アルベカシン、カルバペネム系
- グリコペプチド系
- オキサゾリジノン系
- ケトライド系
- 抗結核薬
- ムピロシン

- 14-15員環マクロライド系
- 第3、第4世代セフェム系
- フルオロキノロン系

- テトラサイクリン系
- ペプチド系
- 16員環マクロライド系
- スルホンアミド系

- ストレプトグラミン系

- チアムリン

- ビコザマイシン

- ポリエーテル系
- アビラマイシン

【既に取り消した成分】

アボパルシン、オリエンチシン、ハイグロマイシンB
ポリナクチン、キタサマイシン、ナイカルバジン等

食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する 抗菌性物質の重要度のランク付け



I : きわめて高度に重要

ある特定のヒトの疾病に対する唯一の治療薬である抗菌性物質
又は代替薬がほとんど無いもの（15員環マクロライド、フルオ
ロキノロン、第三世代及び第四世代セフェム系等）

II : 高度に重要

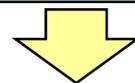
当該抗菌性物質に対する薬剤耐性菌が選択された場合に、有効
な代替薬があるが、その数がⅢにランク付けされる抗菌性物
質よりも極めて少ない場合（ストレプトマイシン、第二世代セ
フェム系、エリスロマイシン等）

III : 重要

当該抗菌性物質に対する薬剤耐性菌が選択された場合にも 同系
統又は異なった系統に有効な代替薬が十分にあるもの（カナマ
イシン、スルホンアミド系、第一世代セフェム系等）

薬剤耐性菌のリスク評価指針の考え方

ヒトに対して危害因子となる
薬剤耐性菌（ハザード）の特定



リスク評価

発生評価

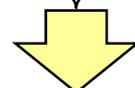
- 薬剤耐性菌の出現
- 耐性率、MIC分布
- その他の要因

暴露評価

- 生物学的特性
- 食品の汚染状況
- その他の要因

影響評価

- 重要度ランク付け
- 疾病の重篤性
- その他の要因



リスクの推定

食品健康影響評価

リスク管理機関への提言

- 適正使用確保のためのリスク管理措置の徹底、
薬剤耐性菌に関する科学的知見、情報の収集、検証
- 疫学的評価・検証に耐え得る適切な薬剤耐性菌に
係るモニタリング体制の構築、継続的な調査・監視
- 抗菌性物質の使用量のモニタリング

